

「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」



日本の食品ロス、年間621万トン(農林水産省及び環境省「平成26年度推計」)。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量(平成26年で年間約320万トン)の約2倍に相当する量の食べもの”が捨てられていることになるのです。

とても「もったいない」と感じませんか・・・。

長野県では、平成22年度から食品ロスの削減を目指し、飲食店や宿泊事業者の皆様にもご協力いただき「食べ残しを減らそう県民運動」を実施していますが、平成28年2月からは、名称を「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」に変更しました。身近なスーパーマーケット等の食品販売関連事業者の皆様にもご協力いただき、さらなる食品ロス削減を目指しています。

サブタイトルの「e」は、食べる(Eat)・エコロジー(Eco)・ACEプロジェクト等のそれぞれの「e」が親しみをもって県民の皆様に応がり、この取組がさらに大きくなることを表しています。

「食への感謝」、「もったいない」等の気持ちで、誰もができる「食べ残しをしない」ことは、ごみの減量に向けた行動の1つです。家庭での料理・食事や外食での食事の際などは、「食べ残しをしない」ようにお願いします。

* 食品ロス・・・まだ、食べられるのに捨てられてしまっている食品。
(参考：消費者庁ホームページ)

お知らせ

キリンビール株式会社様が制作した4月4日発売の新品「一番搾り 信州に乾杯」のPRポスターのキャッチコピー「あるをつくして。」が、宴会での食べきりと呼び掛ける県の運動と関連することから、このポスターに、「残さず食べよう! 30・10運動」の応援メッセージを掲載していただいています!!

あるをつくして。

信州人のおもてなしの想いがたっぷり詰まった
信州だけの、信州のためのビール「一番搾り 信州に乾杯」。

長野県
限定発売

一番搾り 信州に乾杯

キリンビール株式会社は、残さず食べよう! 30・10運動を応援します。
一餐食が終わった最後の30分と最後の10分間は自分の席について料理を飲み、食べ残しを減らしましょう。

ストップ! 未成年者飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。
あさびんはお取扱店へ。のんだあとはリサイクル。

○協力店の「啓発ステッカー」を作成しました!!



「～e-プロジェクト～」に名称変更したことをきっかけに、県民の皆様へ食べきりと呼び掛けるため作成し、県内約580店舗の協力店に配付しました。そろそろ皆様のお近くの協力店で、ご覧いただけるかもしれません。「残さず食べてカッコe」皆様も、是非、今日から実践をお願いします!!

■デザイン協力
岡学園トータルデザインアカデミー(学生制作)